

TOKYO BAY CUP ' 2014

(東京ベイカップヨットレース= T. B. C)

【帆 走 指 示 書】

共同主催 JSAF加盟団体 外洋東京湾
浦安ヨットクラブ

協 力 浦安マリーナ、東京夢の島マリーナ

1. 適用規則：

1-1 セーリング競技規則（RRS）2013-2016

（但し、この帆走指示書によって変更されたものを除く）及び当帆走指示書、当該レース公示を適用する。

1-2 レース公示と帆走指示書との間に矛盾があった場合は帆走指示書を優先する

1-3 Y旗の掲揚にかかわらず個人用浮力用具を着用しなければならない。
（規則40の変更）

2. 帆走指示書等の変更：

レース公示、帆走指示書等に変更等があった場合は、レース開催日の08：00までに浦安マリーナの公式掲示板に公示すると共に、レース開催日の一周間前からレース前日までに外洋東京湾のウェブサイトに掲載する。

やむを得ず海上で変更する場合は、予告信号までに本部船にL旗を掲げ口頭で変更の内容を伝える。

3. 日 程：3-1 レース日程は次の通りとする。

3 / 9 4 / 6 5 / 11 6 / 8 7 / 13 8 / 31
9 / 28 10 / 26

3-2 海面使用不許可等の理由で中止の場合は、開催日より一周間前までに

T.B.C公式掲示板に掲示する。

3-3 当日悪天候の為中止をする事がある、(めやすとしては15m/s以上の風速、波高1.5m以上等)中止の決定は当日08:00までに行う。

3-4 TBCレースは浦安ヨットクラブと共同主催とする。

4. レースエリア :

本シリーズレースは、東京ディズニーランド沖、N35° 35' E139° 53' 付近で行う。

5. 出艇申告 : 5-1 参加艇は当日スタートの予告信号までに、JSAF大エンサインを掲げた本部艇にセールナンバー又は艇名を確認させること。

5-2 予告信号までに申告出来なかった艇も、参加する艇は本部艇に確認させる事。

6. スタート時刻 :

最初のレースのスタート時間10:30予定、第二レースが行なわれる場合のスタート時間は本部艇の旗で指示する。

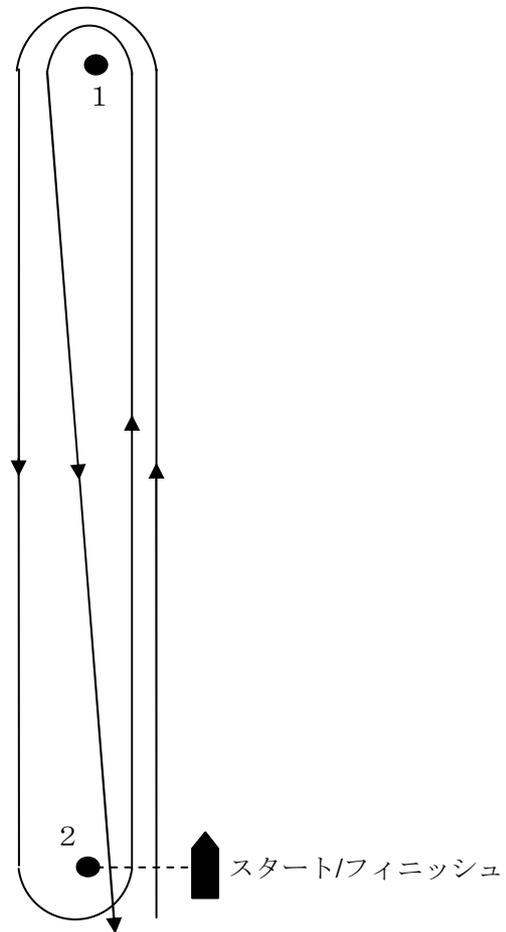
7. コース : 上下ソーセージコース、1レース4レグ、

原則として1日2レースを行う予定だが、本部艇に掲げられた数字旗で当日行なわれるレースの数を示す。

数字旗1が掲げられている場合 1レースを行なう。

数字旗2が掲げられている場合 2レースを行なう。

コース図



1 レグの距離は {約 0.5 マイル~1.0 マイル} その日の風速等によって
レースコミッティが決定する。

8. マーク : 全てのマークは、一辺が約 1.8m の黄色い三角錐のものを使用する。

9. スタート：スタートは規則26に従いスタートする。

| スタート信号までの時間（分） | 視覚信号 | 音響信号 | 意味 |
|----------------|---------------------------|------|--------|
| 5 | JSAFクラブバージ旗 | 1声 | 予告信号 |
| 4 | P旗、I旗、Z旗、I旗とZ旗、 または黒色旗 | 1声 | 準備信号 |
| 1 | 準備旗降下 | 長音1声 | 1分 |
| 0 | JSAFクラブバージ旗降下 | 1声 | スタート信号 |

10. リコール：10-1 個別のリコール艇があった場合には音響信号1声と共にX旗を掲げる、X旗の掲揚は、全ての個別リコール艇がスタートラインまたはプレスタートサイドに完全に入るか、あるいはスタート後4分間の何れか早い方とする。

10-2 ゼネラルリコールの場合、音響信号2声と共に第1代表旗を掲揚する。

新たなスタートの予告信号は第1代表旗降下（音響信号1声）の1分後に発せられる。

11. コースの次のレグの変更：

コース変更があった場合は、反復音響信号と共にC旗またはボードを掲げ、新しいコンパス方位を指示する。レグを短縮する場合は「-」を、レグを延長する場合には「+」を掲示する。

12. スタート後のコース短縮：

スタート後のコース短縮の場合は、短縮信号を発する（音響2声と共にS旗を掲揚）。

この場合、回航マークとS旗を掲げた本部艇のポールとの間でフィニッシュする。

13. フィニッシュ :

フィニッシュラインは、本部艇の大エンサイン掲揚のポールと、フィニッシュマークとの見通線とする。

フィニッシュはコース・サイドからフィニッシュラインを横切らなければならない。

14. タイムリミット :

1 レースの全艇のタイムリミットはスタート後1時30分とする。

(規則35の変更)

15. 抗議 : 15-1 抗議する艇は艇の見やすいところに赤旗を掲げ抗議の意思を表す事ができる。

15-2 抗議の意思を表した艇は、所定の抗議書を当該最終レースのフィニッシュ後1時間30分以内にレース本部に提出する事。

15-3 TBC独自のPHRFのレーティングに対しての救済要求、抗議等は認められない。

15-4 当日行なわれたレースの回数に対しての救済要求、抗議等は認められない。

15-5 抗議に対する審判は、TBCプロティスト委員会が行い、詳しくは後日連絡する。

16. 失格に代わるペナルティー :

規則44-1.44-2を適用する。レース中に第2章の規則に違反したかも知れない艇は2回転ペナルティーを履行することができる。

規則31に違反したかも知れない艇は1回転ペナルティーを履行することができる。

艇は、インシデントの後できるだけ早く他の艇から十分離れた後、1回のタックと1回のシャイブを含む回転を、同一方向に必要な数だけ速やかに行うことにより2回転または1回転ペナルティーを履行したこととする。

17. 帰着申告 : 17-1 フィニッシュした艇は、フィニッシュにより帰着申告とする。

17-2 リタイヤ又はフィニッシュ出来なかった艇は、必ず本部艇に連絡する事。何らかの理由で本部艇に連絡出来ない時でも、当日18:00までには必ず陸上本部に、当該艇の責任者が電話

連絡する事。

18. 結果の発表：

- 18-1 レース結果（暫定の場合もある）をメール等で参加艇に連絡すると共に JSAF 加盟団体 外洋東京湾のウェブサイトに掲載する。
(<http://tokyowan.yacht.jp/>)
- 18-2 当該レースの結果は後日、舵誌に掲載する。

19. 得点及び順位の決定：

- 19-1 順位はTBC独自のPHRF（TCF）タイムオンタイムにて算出する。
- 19-2 低得点方式を用いる。
- 19-3 各戦の順位で得点を算出し、年間で集計し表彰対象とする。
- 19-4 コミッティを行った艇のそのレースの得点は年間参加レースの平均点数とする。
- 19-5 各艇のシリーズの得点は最も悪い得点を除外しない。
(付則A A2の変更)
- 19-6 レース結果並びにシリーズレースの最終結果が同点の場合はレーティングの低い艇を上位とする。

20. 賞：

年間有効得点の1～5位。
参加艇が5艇未満の場合は、1位のみとする。

21. レース本部：

レース前日 22:00迄：090-4940-4726（斎藤晴彦）
レース当日 浦安マリーナ陸上本部 090-4940-4726

22. 公式掲示板：

浦安マリーナのクラブハウスの掲示板とする。

23. レースの有無の問い合わせ：

天候等で判断がつきにくい場合は当日、07:00以降 090-4940-4726 斎藤晴彦迄。

24. レースの運営

レースコミッティは原則として参加艇が順番で運営を行う、運営を行ったレースの得点は19-4とする。

参加各位

- 1) TBC参加艇は年間エントリー費として¥5,000を2014年3月3日(月)までに下記口座に振り込むと同時に、参加申込書並びに主催者・共同主催者契約書、TBCレーティングエントリーフォームに必要事項を記入して、斎藤晴彦宛にメールに添付して申し込むかFAXすること。
E-mail hayabusa@cc.mbn.or.jp (FAX番号 047-711-1543)
- 2) 2014年3月3日(月)迄に申し込みのない艇もシリーズ参加を認めます。
但し、別途事務費¥2,000加算し、¥7,000円となります。
- 3) 毎回の参加費は2,000円(1日レース分)とし、レース当日、浦安マリーナにおいて現金で集金致します。
- 4) 浦安マリーナ以外の艇は指定口座に振込みをお願いします。
振込みは必ず艇名をお願いします。(数回分まとめて可)

振込み先 三井住友銀行 千葉支店 普通

066-7756434

TBC事務局 畑田晴彦 宛

前もってレースが中止になった場合、先払いの参加費は次回分に繰り越すものとします。(当日、本部船並びに参加艇が出航し、何れかの理由によりレース海面で中止になった場合の参加費は返還致しません)

また、参加艇の都合での返却は致しません。

- 5) 参加費を1回以上滞納した艇はエントリーは受け付けません。
- 6) 帆走指示書は、インターネットで外洋東京湾のウェブサイトから取り出してください。
- 7) レース当日の連絡を円滑に行なう為、及び安全管理の意味で、各マリーナに連絡担当の艇を決めてもらい、中止の決定等の問い合わせ、及びレース艇の帰港状況を報告していただきます。
- 8) 12月13日(土)のTBC表彰式・パーティ(場所は未定)にも是非ご参加下さい。

以上